

11月 14-20日

列王第二 7-8章

143番の歌と祈り

開会の言葉（1分）

神の言葉の宝

「エホバは思いも寄らないことを生じさせた」（10分）

宝石を探し出す（10分）

王二 8:19 それでもエホバは、神に仕えたダビデのために、ユダを滅亡させることは望まなかった。

ダビデとその子たちにいつまでも明かり(子孫のこと)を与えると約束していたからである。

エホバはどのようにしてダビデとその子たちに「明かり」を与えたか。

(洞-2 353 ページ1節ともしご、ともしごⅢ) ダビデの家系の王たち エホバ神はダビデ王をイスラエルの王座に就かせ、ダビデは神の導きのもとでイスラエル国民の賢い案内人また指導者となりました。そのために、ダビデは「イスラエルのともしご」と呼ばされました。（サム二 21:17 もう私たちと一緒に戦いには来ないでください。イスラエルの明かりを消してはいけません！）エホバはダビデとの王国契約の中で、「あなたの王座は、定めのない時までも堅く立てられたものとなる」と約束されました。（サム二 7:11-16）それゆえ、その子ソロモンを通してダビデの子孫となった支配者たちの王朝、もしくは家系は、イスラエルにとって「ともしご」のようでした。—王一 11:36 ソロモンの子には1つの部族を与える。そのようにして、私の名を付すために私が選んだ都市エルサレムで、ダビデの明かり(子孫のこと)が常に私の前にあるようにする；15:4 それでもエホバ神は、ダビデのために、エルサレムにともる明かり(子孫のこと)をアビヤムに与えた。アビヤムの子を王に任命し、エルサレムを存続させたのである；王二 8:19 それでもエホバは、神に仕えたダビデのために、ユダを滅亡させることは望まなかった。ダビデとその子たちにいつまでも明かり(子孫のこと)を与えると約束していたからである；代二 21:7 それでもエホバは、ダビデと結んだ契約のために、ダビデの家系を滅亡させることは望まなかった。ダビデとその子たちにいつまでも明かり(子孫のこと)を与えると約束していたからである。

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

(7:17)にあるエホラム王が信頼していた副官が経験した悲劇は、疑いによる信仰の欠如が背教や罪とも関係していることを教えてくれる。洞察には、「疑う者が神とその約束に対して罪を犯す者であるのは、不当に神を裁いているからである」と説明されている。それで危険な状態に置かれている人々の命をエホバと同じように気遣う私たちに宣教の機会がまだ許されていることを感謝しつつ、各自状況は異なるが、できることを誠実に果たしていきたいと思う。

聖書朗読（4分）[王二 7:1-11](#)（教励 第2課）

野外奉仕に励む

再訪問の動画（5分）討議。「[再訪問：良い知らせ（啓 21:3, 4）](#)」の動画を再生する。映像が止まったところで動画を一時停止し、画面に表示される質問をする。

「こんにちは！鈴木です。またお話しできたらと思って伺いました。（あーこの前の？）はい。この間は暴力や戦争が亡くなることについてお話しできて、嬉しかったです。でもニュースを見ていると暴力や戦争以外のことでも、辛い経験をしている方が大勢いますね。そんな風に感じること、ありませんか？（それは有る）犯罪に巻き込まれたり、病気になったり、いろいろありますよね。もしできるならこんな問題が無くなって欲しいなってものがあるか？（やっぱり病気かな。大変な思いをしている人多い）本当、本人も周りも辛い気持ちになる。聖書にこう書かれている。将来がどうなるか、ちょっと見てもらえますか？（啓示 21:4 読む）将来神が何を拭い去るってありましたか？（涙）しかも全ての涙ってあるように涙の原因が全て無くなる。病気もなんですよ。もし実現したら凄いこと。（そんな風になつたらいいとは思うが）それが単なる夢のような話ではなくて、本当に期待できるっていうことが聖書から分かる。また今度どうすれば聖書について知ることができるか？お話ししてもいいですか？」

Q「いつまでも幸せに暮らせます」の冊子や本にどのようにつなげたいですか？ [レッスン2の副見出し4.](#)

右側一覧に注目し、「悪いことが無くなるだけでなく、どんな良いことが起きて欲しいか？」尋ねる。

場合によってはこの一覧を用いて何回か再訪問できるかも。

再訪問（4分）[話し合いのサンプルの話題](#)に沿って話す。公式ウェブサイトを紹介し、jw.org コンタクトカードを渡す。（教励 第6課）

再訪問（4分）[話し合いのサンプルの話題](#)に沿って話す。集会に招待する。「[王国会館においてください](#)」の動画を紹介し、話し合う。（再生はしない）（教励 第11課）

クリスチャンとして生活する

[34番の歌](#)

会衆の必要（15分）

会衆の聖書研究（30分）[暮 レッスン27](#)

閉会の言葉（3分）

[18番の歌](#)と祈り

[^ \(王二 7:1-8:29\)](#) エリシャは言った。「エホバの言葉を聞きなさい。エホバはこう言っています。『明日の今ごろ、サマリアの門*で、上等の麦粉7リットルが銀1枚*、大麦14リットルが銀1枚*の価値になる』」。2 王が信頼する副官が、真の神に遣わされた人に言った。「たとえエホバが天の水門を開いたとしても、そのようなことがあり得るだろうか」。エリシャは言った。「あなたはそうなるのを自分の目で見ますが、食べることはできません」。3 都市の門の入り口に重

神の言葉の宝

エホバは思いも寄らないことを生じさせた

深刻な飢饉が続く中、エホバは、次の日には食物があり余るほどになると言った。 (王二 7:1。洞 -1 426 ページ 1 節ところが、後に、ベン・ハダド 2 世は略奪目当ての散発的な奇襲攻撃ではなく、大挙して侵入し、サマリアを攻囲します。その攻囲があまりにも厳しいため、女性が我が子を食べるという事件が少なくとも 1 件王に報告されたほどです。アハブの子孫で、「人殺しの子」であるエホラム王は、エリシャを殺すことを誓います。しかし、その性急な誓いは果たされません。副官と一緒に預言者の家に着いたエホラムは、エホバの援助を受ける望みはことごとく失われたと述べます。エリシャは、翌日になれば、食物があり余るほどになる、と王に保証します。王の副官はその予言を嘲笑したため、エリシャから、「あなたは自分の目でそれを見るが、それから食べることはないであろう」と告げられます。エホバがシリア人の陣営の中で、何かの騒音を聞こえさせたため、彼らは連合した諸国の大部隊が自分たちに向かって進軍して来たと思い込み、陣営を食糧ごとそっくりそのまま残して逃走します。シリア人が陣営を放棄したことに気づいた王は、その副官をサマリアの門を守る任務に就かせますが、陣営のものを略奪しようとして突進するイスラエル人の飢えた群衆に門の所で踏みつけられて死んでしまいます。彼は食物を見はしませんが、それから食べることはできません。—王二 6:24-7:20)

イスラエルの副官は、エホバの約束を疑った。 (王二 7:2 王が信頼する副官が、真の神に遣わされた人に言った。「たとえエホバが天の水門を開いたとしても、そのようなことがあり得るだろうか」。エリシャは言った。「あなたはそうなるのを自分の目で見ますが、食べることはできません」)

エホバは思いも寄らないことを生じさせた。 (王二 7:6, 7 エホバがシリア人の陣営に、戦車と馬の音と大軍の音をとどろかせたため、シリア人は「イスラエルの王がわれわれを攻めるため、ヘト人の王たちとエジプトの王たちを雇ったのだ！」と口々に言い、⁷ すぐに立ち上がって夕闇の中、逃げ去ったのである。天幕も馬もロバも置き去りにし、生き延びようと陣営をそのままにして逃げ去っていた。¹⁶⁻¹⁸ そこで人々は出でていってシリア人の陣営の物を奪い取ったので、上等の麦粉 7 リットルが銀 1 枚、大麦 14 リットルが銀 1 枚の価値になった。エホバの言葉の通りだった。¹⁷ 王が信頼して門の管理を任せていた副官は、門の所で人々に踏み倒されて死んだ。真の神に遣わされた人が、やって来た王に話した言葉の通りになつたのである。¹⁸ こうして、真の神に遣わされた人が王に、「明日の今ごろ、サマリアの門で、大麦 14 リットルが銀 1 枚、上等の麦粉 7 リットルが銀 1 枚の価値になる」と言った通りになつた)

この体制の滅びは予期しない時に突然起こる、とエホバは述べている。 (テサ一 5:2, 3 エホバの日が夜に忍び込む泥棒のように来るなどを、皆さんはよく知っているからです。³ 人々は、「平和だ、安全だ！」と言っている時に、突然滅ぼされることになります。妊婦に起こる陣痛と同じように突然で、彼らは決して逃れられません) エホバの言葉に信仰を持つことが重要なのはなぜか。

